



2019年12月6日

各 位

長野県北安曇郡白馬村大字北城6329番地1
 会社名 日本スキー場開発株式会社
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 周平
 コード番号 6040 東証マザーズ
 問合せ先 財務経理本部長 佐藤 祥太郎
 電話番号 0261-72-6040

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年9月6日に公表しました2020年7月期第2四半期及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年7月期第2四半期累計連結業績予想の修正（2019年8月1日～2020年1月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期期純利益
前回発表予想 (A)	3,430	170	160	80	5円3銭
今回修正予想 (B)	3,430	170	160	280	17円63銭
増減額 (B-A)	0	0	0	200	
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	250.0	
(ご参考) 前第2四半期実績	3,187	157	158	114	7円22銭

2. 2020年7月期通期業績予想の修正（2019年8月1日～2020年7月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,900	700	690	440	27円70銭
今回修正予想 (B)	6,900	700	690	500	31円48銭
増減額 (B-A)	0	0	0	60	
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	13.6	
(ご参考) 前期実績	6,628	629	634	607	38円22銭

3. 修正の理由

2020年7月期第1四半期において、当社子会社が保有する固定資産を譲渡し、それを264百万円特別利益に計上したことに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。また、2020年7月期第3四半期以降に子会社施設の価値向上のため、リゾート内の経年劣化した施設（使用していないリフト、建物等）の除却を検討しており、それに伴う固定資産除却損（特別損失）150百万円の計上を見込んでおりますため、通期の業績においては、親会社株主に帰属する当期純利益は60百万円程度前回発表予想を上回ることを想定しております。

なお、本年10月12日に上陸した台風19号について、運営施設への物理的な被害は軽微に止まりましたが、北陸新幹線の運休や高速道路の通行止め等による悪影響を受け、また、紅葉のピークとなる10月は台風後の旅行のキャンセル等による集客減と週末での悪天候が重なり、全体の来場者数は10月単月で計画対比約41千人（約45%）の減少となりました。

しかし、11月の来場者数は好調に推移し、また、当ウィンターシーズンは暖冬による小雪を考慮して業績を予想しておりますが、例年並みのオープンが見込まれる可能性があることから、現状においては売上高、営業利益及び経常利益の変更はいたしません。

今後の営業状況を鑑み、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

（注）上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上